

保育現場に役立つ!!

感染症の 基礎知識と対応方法



相模原市マスコットキャラクター「さがみん」



感染症とは



いつも感染対策にご協力いただきありがとうございます

感染症とは、ウイルスや細菌などの病原体が体内に侵入して増殖し、発熱や下痢、咳等の症状が出ること

【保育園で感染が広がりやすい理由】

乳幼児
の特徴

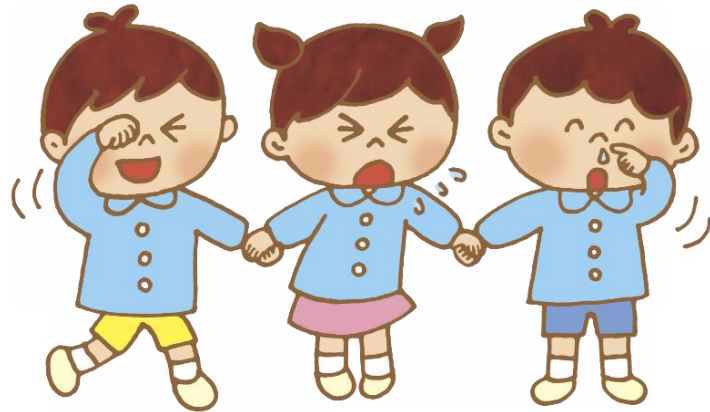
- 抵抗力が弱い
- 衛生的な行動ができない（正しいマスクの着用、適切な手洗いなど）
とくに、乳児は床をはい、手に触れるものを何でもなめる

保育園
では

- 感染症に罹患している園児以外に、罹患していても症状がない園児や職員がいる可能性がある
- 長時間の集団生活で、午睡や食事、遊び等では、園児同士が濃厚に接触することが多く、飛沫感染や接触感染が生じやすい

感染経路

飛沫感染・・・インフルエンザ、風しん、百日咳、水痘など
咳やくしゃみのしぶき（飛沫）を吸い込んで感染
1～2m以内の距離で飛沫をあびることで感染



接触感染・・・インフルエンザ、感染性胃腸炎、水痘、とびひなど

患者の分泌物や排泄物に直接接触して、または、患者が触ったものに触れて、その手で口や鼻、目などを触り、結膜から体の中に侵入

空気感染・・・結核、麻しん、水痘

咳やくしゃみのしぶきの水分が蒸発して、一定時間、病原体が空気中を浮遊し、それを吸い込むことによる感染



感染成立の3要素

ひとつでも取り除くと感染は成立しない

《対策》

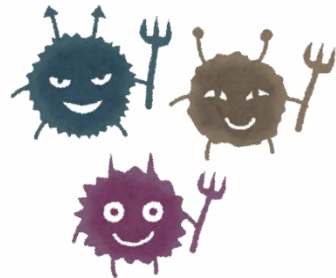
感染源の排除

感染経路の遮断

抵抗力の向上

《3要素》

感染源 (病原体)



ウイルスや細菌を含んでいるもの

吐物、排泄物、血液、
注射針等の使用した器具など

感染経路

- 飛沫感染
- 接触感染
- 空気感染

最も多い

感受性宿主



その病原体に抵抗力を持っていない人

「感染経路の遮断」は感染拡大防止のためにも重要！

標準予防策（スタンダードプリコーション）

標準予防策は感染対策の基本の考え方



すべての人は病原体を保有していると考え、血液、嘔吐物、便、尿、膿、痰などは、感染源となり、感染する危険性があるものとして取り扱う

- 嘔吐物や便などに触れた後などは **手洗い** を行い、
- 触れるおそれのあるときは、あらかじめ**個人防護具**（手袋やマスク、エプロン、ゴーグルなど）を着用しましょう



手指衛生（手洗い・手指消毒）はなぜ重要？

保育の場では、園児や職員の手を介して、感染が広がる
ことが多くみられます

感染症の多くは、手に付着した細菌やウイルス等が、手すりや
ドアノブ等の物に付着し、そこに触れた手を介して、鼻や口、
目から体内に入ることによって感染が起き、ひろがります



手指衛生により、感染経路を遮断することが大切

正しい
手指衛生

基本は
1ケア
1手洗い



手指衛生は感染対策において最も
大切!
感染症から園児と職員を守ります

手洗いのタイミング

- 園児・職員

- 登園時
- 退園時
- トイレの後
- 食事の前
- 動物を触った後
- 遊び（外遊び、散歩、製作活動など）の後

- 職員

- 清潔にすべきもの（食べ物・飲み物）を扱う前
- 子ども等の粘膜に触れる可能性のある場合（歯磨き指導、外傷の手当てなど）
- 不潔なもの（汚染の可能性のあるものを含む）に触れた後（おむつ交換後、トイレ介助後、嘔吐物処理後、傷処置後など）
- 使い捨て手袋を着ける前、外した後



石けんと流水による手洗い

Point

15秒～30秒を目安に、石けんと流水を使い
洗い残しがないよう丁寧に洗いましょう

アルコールが
効かない
ノロウイルスも

汚れや有機物、細菌、ウイルスなどを減らせます



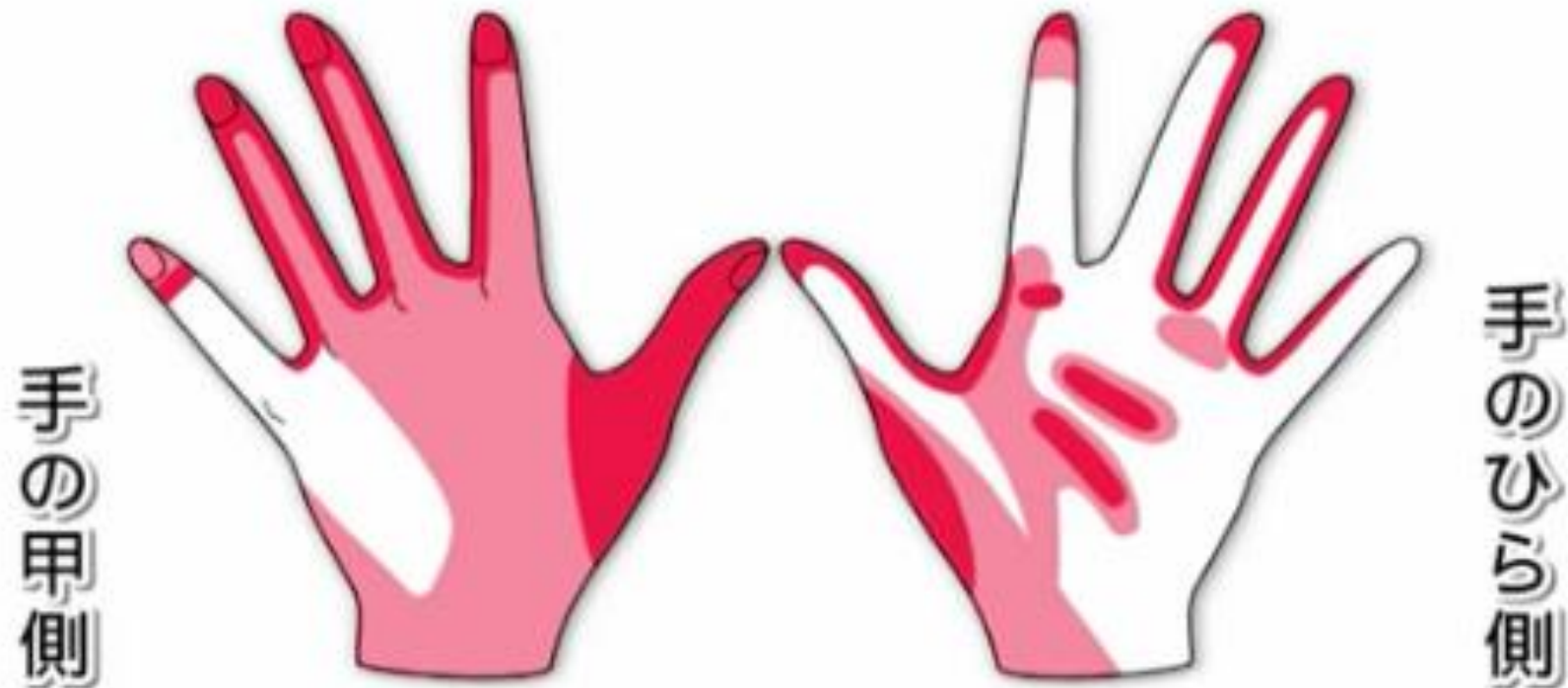
手洗いの方法	残存ウイルス量
手洗いなし	⇒ 1,000,000個
流水で15秒間洗う	⇒ 10,000個 (100分の1に減少)
石けんで10秒間もみ洗い + 流水で15秒間すすぐ	⇒ 数百個 (1万分の1に減少)
上記を2セット	⇒ 数個 (100万分の1に減少)

石けんには消毒効果はありませんが、手の汚れを落とし、細菌やウイルスをはがれやすくする効果があります。よく泡立てることで、手のしわにも入り込みます

洗い残しやすいところを意識して手洗い

指先や指の間、手のひらのしわ、親指の周り、手の甲など、洗い残しやすいところを意識して、手を洗いましょう

- 洗い残しの多いところ
- やや洗い残しの多いところ



正しい手洗い

30秒は

♪ハッピーバースデーの歌♪を
2回繰り返す時間

手洗いの
の前に

爪は短く切っておく
指輪や腕時計は外しておく

1



流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

2



手の甲をのぼすようにこすります。

3



指先・爪の間を念入りにこすります。

4



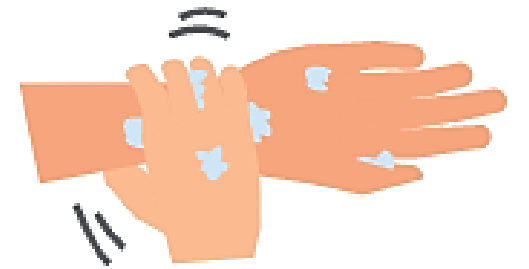
指の間を洗います。

5



親指と手のひらをねじり洗いします。

6



手首も忘れずに洗います。

アルコールによる手指消毒

Point

手指消毒薬を十分な量（たっぷり）手に取り、乾くまですりこみましょう

石けんと流水が使用できないときや、目に見える汚れがない場合等は、アルコール手指消毒剤を効果的に活用しましょう

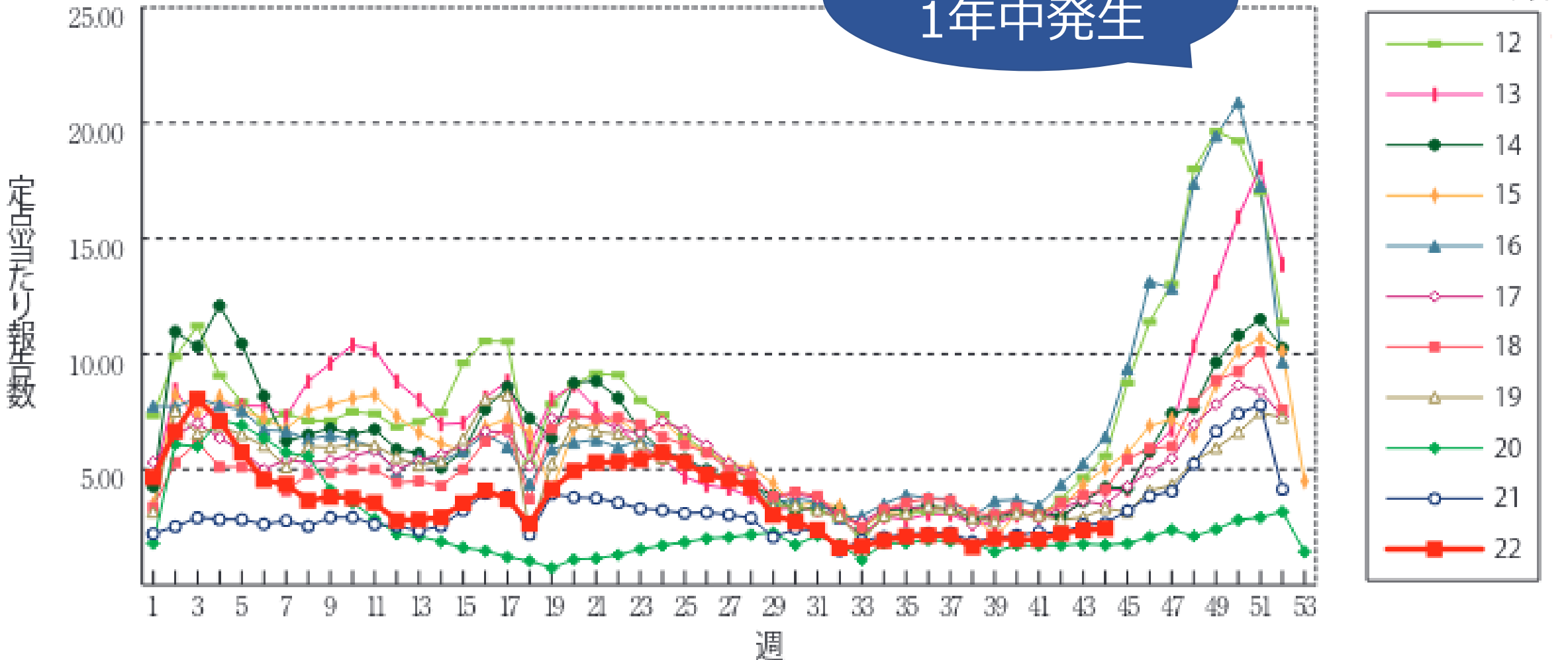


アルコール（エタノール）の濃度
70～85%

手指消毒薬の量（目安）
乾くまで15秒間手にすりこめる量（約3ml）

冬に多い感染性胃腸炎（全国の流行状況）

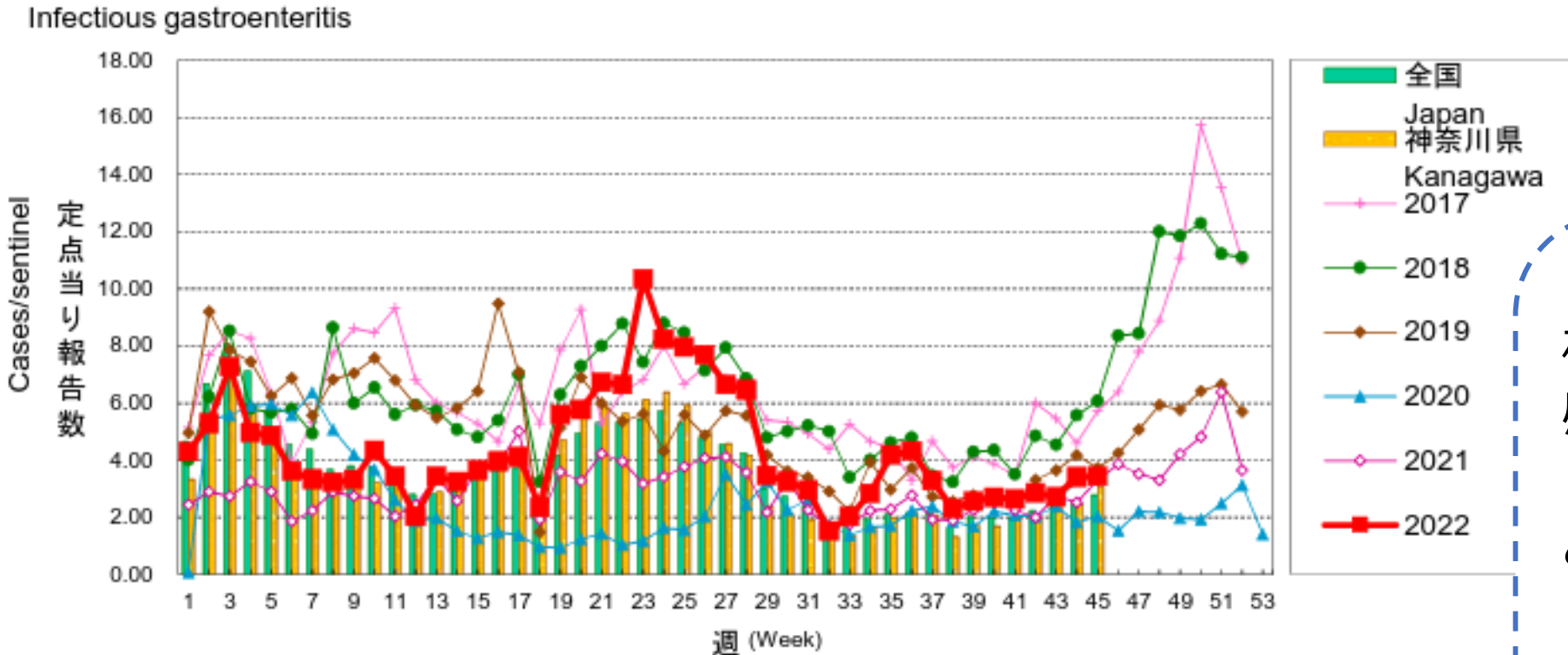
感染性胃腸炎



冬に多い感染性胃腸炎（相模原市の流行状況）

感染性胃腸炎

（相模原市感染症週報 2022年第45週 11/7～11/13）



相模原市内の
感染症の流行状況は、
「感染症週報」を
ご覧ください

（相模原市感染症情報
センターのHPにあり
ます）

ノロウイルスの特徴

感染力が強い

わずかな
ウイルス量
(10~100個)
で感染

(参考) 食中毒の多くは10万~100万個の菌を摂取しないと発症しない

便1gに1億個以上、吐物1gに1000万個以上の
ウイルスが含まれる

ウイルスが
患者の便や
吐物に大量
に含まれる

アルコールが効きにくく、60℃程度
の熱には抵抗性があり、乾燥にも強い

- 症状軽快後もウイルスの排泄
が長く続く (1週間~10日)
- 感染しても下痢などの症状が
出ないことがある

または

次亜塩素酸
ナトリウム
などで消毒

85℃以上で
少なくとも
1分以上加熱

吐物処理などの消毒には次亜塩素酸ナトリウム

おう吐！

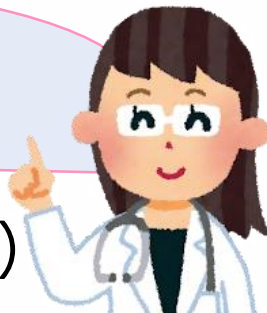


下痢！



スタンダード
プリコーション！

(感染性があると考える)



ノロウイルスの
可能性も考えて吐物等の処理

消毒には
ノロウイルスにも効果がある
次亜塩素酸ナトリウム

- 原液は直射日光の当たるところや、高温の場所には置かない（塩素は日光により分解する）
- 薄めた消毒液は時間が経つにつれて効果がなくなるので、作り置きをしない（とくに低濃度のものは24時間で作りかえる）
- 皮膚への刺激が強いため、手洗いなど人には使用しない
- 他の洗剤と混ぜない

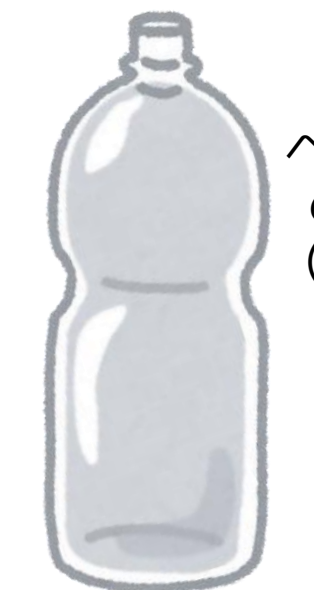


次亜塩素酸ナトリウムの希釈方法

原液 5%



家庭用塩素系
漂白剤でOK



500mℓの
ペットボトル



ペットボトル
のキャップ
(約5mℓ)

原液が5%の次亜塩素酸ナトリウムを希釈する場合

消毒の対象	必要な濃度	希釈倍率	500mℓの水に加えて作る場合に必要な原液の量
便や吐物が付着した床など	0.1%	50倍	10mℓ (ペットボトルキャップ2杯)
ドアノブ、手すりなどの消毒	0.02%	250倍	2mℓ (ペットボトルキャップ半分弱)

保育現場に役立つ!!

感染症の 基礎知識と対応方法



相模原市マスコットキャラクター「さがみん」

ご清聴ありがとうございました

